

News Release

アクセンチュアと e ラーニング*大手ドーセント、国内 e ラーニング市場拡大で協業

企業価値向上に直結する 人材パフォーマンス最大化のための総合ソリューションを提供

アクセンチュア株式会社
ドーセント株式会社

*e ラーニング：パソコンやインターネットを通じて行なわれる（社員）教育

先進的な経営コンサルティングとテクノロジー・ソリューションを提供するグローバル企業、アクセンチュア株式会社（東京都港区赤坂、代表取締役社長：森 正勝、以下アクセンチュア）と、世界の主要企業に e ラーニング・ソリューションを提供する大手企業、ドーセント（本社：カリフォルニア州マウンテンビュー市、会長 兼 社長 兼 CEO :デイブ・エレット）の日本法人、ドーセント株式会社（本社：東京都港区赤坂、代表取締役社長：村上 憲郎、以下ドーセント）は、これまで両社で培ったグローバルアライアンスを日本市場においても展開し、共同で国内 e ラーニング市場の拡大に努めることを発表いたしました。

今回の協業は、米国において 2000 年 4 月に締結されたアクセンチュアとドーセントのグローバルな提携関係の一環として行われるものです。アクセンチュアとドーセントは、上記の提携以来、グローバル市場において既に 20 社以上に上る協業実績を持っています。

現在、日本企業は構造改革の苦しみの過程にあります。真にグローバルエコノミーの中で競争力を発揮する為には、人材パフォーマンスの最大活用が必要です。つまり、単なるリストラ（人員数／コスト削減）を超え、社内・グループ内のナレッジの最適化に向けた、いわばナレッジ・リエンジニアリング、ナレッジ・ポートフォリオ・マネジメントの段階へと向かうことが求められています。しかしこれまでの企業内にはナレッジ・ポートフォリオを把握する仕組みも不十分であり、また感覚的に不足している領域が分かったとしても、OJT*や集合研修に頼った非効率的な教育に依存せざるを得ない状況でした。

OJT*: On the Job Training

また、成果主義人事制度への転換に伴い ERP 等を用いた人事システム再構築が多くの企業で実施されていますが、こ

こうした取り組みを単に社員プロフィールや給与情報管理に終わらせるのではなく、人材パフォーマンスの向上に資する経営情報活用にも発展させていくことによって、はじめて真の企業変革が実現されます。

このような中、eラーニングは、ITやWebの持つ特性を最大限に活かし、高度な実践的スキルやコミュニケーション能力を、場所、時間の制約なく、スピーディに習得することを可能にする新たな教育形態として、国内でも高い成長が見込まれています。アクセンチュアが通産省マルチメディア白書および教育産業総覧などから予測した結果、国内eラーニング市場は、2000年実績の300億円から10年後の2010年には1兆300億円にまで成長するとされています。また、企業内教育の規模と内訳に関しては、2000年においては約99%が集合研修により実施されているのに対し、2010年には過半数の54%がeラーニングにより行われるようになると予測されています。

この分野での高い実績を誇るドーセント社のeラーニング・プラットフォーム「Docent Enterprise」は、既存の集合教育をもソリューションに統合することが可能な拡張性、柔軟性を備え、現段階での日本企業の求める企業内教育のニーズにも即座に対応します。また、信頼性に優れ、開発、展開、管理、評価など、学習管理システム(LMS*)及びHRM**構築に必要なインフラを備えている他、ERPを始めとした様々な基幹システムとの連携を可能にしています。さらには、日本語、英語をはじめ世界の文字セットに既に対応しており、世界的にビジネスを展開する多国籍企業のニーズにも対応しています。

*LMS: Learning Management System

**HRM: Human Resource Management (system)

企業は、これまで蓄積した社員データと、『Docent Enterprise.5.0』の提供するコンピテンシーマネジメント機能や、社員別にパーソナライズされた情報伝播の仕組み等とを結びつけることにより、人事システム投資の効果を格段に向上させることが可能です。

アクセンチュアでは全世界で約2,500名、国内において約100名の人材／組織変革における研鑽を積んだ専門のコンサルタントが、ドーセントの「Docent Enterprise 5.0」を効果的なeラーニング遂行のための基幹ツールとして活用し、人材パフォーマンス向上に向けた戦略策定から定着化・運用までの一貫したソリューションを提供いたします。

Docentの提供するソリューションは、アクセンチュアの提唱するHR*テクノロジーを活用した企業変革の重要なコンポーネントの一つであり、両社の培ったノウハウを融合させることで、eラーニングの仕組みのみならず、ナレッジマネジメント、eコミュニケーションといったヒューマンパフォーマンスの向上、更には真の競争力強化を実現する、企業変革ソリューションの提供が可能となります。 *HR: Human Resource (人材開発)

アクセンチュアとドーセントは今後共同で、拡大しつつある国内eラーニング市場に指針を示し、人材パフォーマンス最適化ソリューションを提供していく為、展示会への参加、セミナーの開催といった、共同マーケティング活動をも展開してゆきます。

アクセントチュアについて

アクセントチュアは、経営コンサルティングとテクノロジー・サービスにおける世界的な先進企業です。アライアンスや関連会社設立、その他の手法を通じ、コンサルティングやアウトソーシングに関するノウハウを蓄積、独自のビジネスアプローチとそのネットワークにより、あらゆる業界の顧客企業が自身のビジョンを迅速に実現できるよう、「革新」を顧客に提供します。アクセントチュアは世界 47 カ国に 7 万 5 千人以上の社員を擁し、2001 年 8 月 31 日を期末とする 2001 会計年度の売上高は 114 億 4 千万ドルでした（2001 年 7 月 19 日 NYSE 上場、略号：ACN）。

アクセントチュアの詳細は

www.accenture.com を、

アクセントチュア株式会社の詳細は

www.accenture.com/jp をご覧ください。

ドーセントについて

Docent, Inc. (Nasdaq: DCNT) は、Global 2000 企業に e ラーニングのソフトウェアおよびサービスを提供する大手企業です。Docent は、適確な知識を適確な相手に適確な時間に伝えることを可能とすることにより、企業や組織にとってのビジネス上の優位性を築きます。Docent は、e ラーニングの開発、展開、管理、評価にわたる完全なインフラストラクチャーを提供します。e ラーニングのスイート製品である Docent Enterprise には、数々の賞に輝く Docent Learning Management Server™、Docent Content Delivery Server™、Docent Outliner™、および Docent Mobile™が含まれています。顧客には、Fortune Global 500 にあげられている 50 社以上を含む、250 社以上の企業が名を連ねています。Docent は米国カリフォルニア州マウンテンビューに本社を置き、米国各地、欧州、アジア太平洋地域に事務所を構えています。ドーセント 株式会社は Docent, Inc. の日本における 100% 子会社です。より詳細な情報は www.docent.com をご覧ください。

※Docent、Docent Enterprise、gForce および Docent および gForce に関連する名称は Docent, Inc. の商標または登録商標です。

ドーセント 株式会社概要

商 号：	ドーセント 株式会社
英文社名：	Docent Japan
設立年月日：	2001 年 11 月 19 日
本社所在地：	東京都港区赤坂 7-1-16 日本生命赤坂第 2 ビル 郵便番号 107-8672 電話 03-5414-5871
代 表 者：	代表取締役社長 村上 憲郎（むらかみ のりお）
資 本 金：	10,000,000 円
主要株主：	米国 Docent, Inc. (100%)
事業内容：	日本国内における米国 Docent 社製品・サービス・テクノロジーの販売・マーケティングおよびサポート業務
取引銀行：	三井住友銀行

Copyright © 2015 Accenture
ALL rights reserved

Accenture, its logo, and
High Performance Delivered
are trademarks of Accenture.